取扱説明書 ―― 保管用

yamada

リニア調光LEDペンダント

（一般屋内専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　　名	調光ユニット
PD-2604-N	Power LED 3.5W×8灯(白色)
PD-2604-L	Power LED 3.5W×8灯(電球色)

※１回路の最大接続台数は30台までです。30台を超える場合は別途ご相談ください。

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

⚠ 警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱い説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

⃠ 次のような場所には取付けないでください。
〇傾斜天井および天井面以外の場所　　〇補強材の無い場所への取り付け。
〇石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。　〇凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も落下による、器具その他の破損やケガの原因となります
〇サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火やＬＥＤ光源寿命低下の原因となります。

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

❗ ＬＥＤ光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

⚠ 注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で８～10年後には、外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度が30℃、年間3000時間点灯です。（ＪＩＳ Ｃ8105-1　解説による）周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100Ｖ)以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

❗ この器具は周囲温度５℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、ＬＥＤユニット寿命短縮の原因となります。

⃠ 調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。(次項を参照してください。)
★不良点灯や調光器、照明器具の故障または火災の原因となります。

⃠ カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや、欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⚠ 注意

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因になります。

点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

同品名商品のＬＥＤ光源でも色・明るさに多少のバラつきがあります。予めご了承ください。

照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

調光器適合表

調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

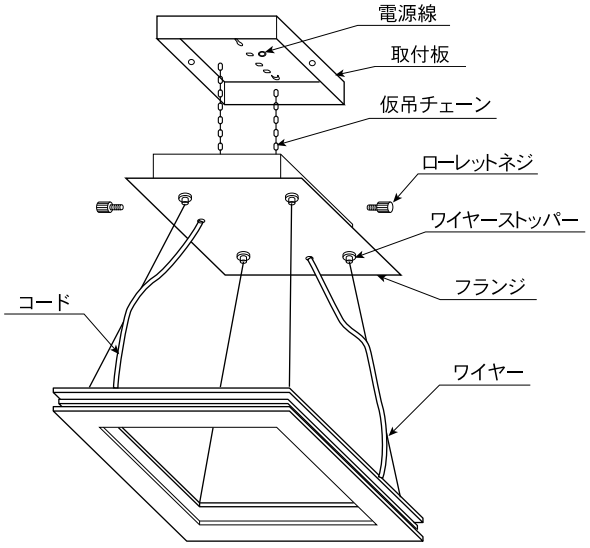
メーカー名	調光器名称	品　　番	1回路当たりの接続数	インターフェース※
LUTRON	ホームワークス用 マエストロ	HMD－4NE－JA－	1台(調光器1台に対して)	ＬＵＴ－ＬＢＸ－ＪＡ
			2～11台(調光器1台に対して)	不要
	グラフィックアイ　OS	QSG－＊P－100－	1台(1ゾーンに対して)	ＬＵＴ－ＬＢＸ－ＪＡ
			2～17台(1ゾーンに対して)	不要
	グラフィックアイ　3000	GRX－310＊－T－JA－	18～30台(1ゾーンに対して)	ＮＧＲＸ－ＰＢ－ＷＨ
	調光盤	JDP－＊＊・GP－4	1台(1回路に対して)	ＬＵＴ－ＬＢＸ－ＪＡ
			2～30(1回路に対して)	不要

※インターフェースが必要な場合は1回路に1台を必ず接続してください。
　ＬＵＴ－ＬＢＸ－ＪＡ：低負荷容量インターフェース、　ＮＧＲＸ－ＰＢ－ＪＡ－ＷＨ：パワーブースター
★調光器との接続方法につきましては別途ご相談ください。
★電源を入れても点灯しない様に感じられる場合は、電源投入後、一時調光レベルを上げて動作の確認をしてください。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

木ネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4本

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚
（本書）

保証とアフターサービスについて・・・・1枚
（別紙）

取り付け場所の確認

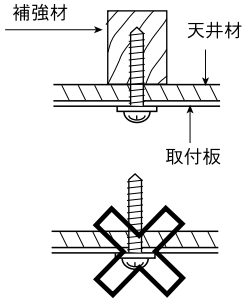
●この器具は、ボルト止めまたは木ネジ止めのどちらでも可能です。
・ボルトにて取り付ける場合は、別途ボルト施工が必要です。
・木ネジにて取り付ける場合は、付属のネジにて取り付けます。

木ネジ止めのご注意

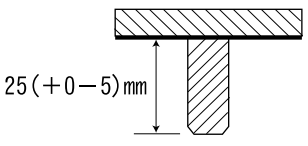
⚠ 警告

器具を木ネジで取り付ける場合、必ず補強剤のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。

建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



ボルトの出寸法

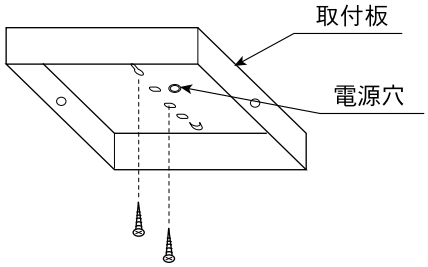


取り付け方　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

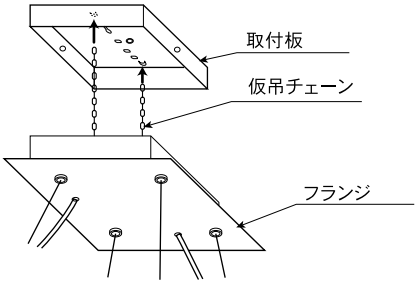
⚠注意　器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

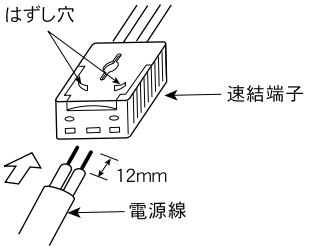
1.電源線の被覆を剥きます。
●電源線の被覆を端子背面のストリップゲージにあわせてむきます。

2.取付板を取り付けます。
●木ネジ止めの場合
①電源線を電源穴より器具内に引き込みます。
②付属の木ネジ(４本)にて器具を天井に固定します。
●ボルトネジ止めの場合
①電源線を電源穴より器具内に引き込みます。
②天井に施工されているボルトを器具本体のボルト穴にあわせ入れます。
③ワッシャーを通し六角ナットで固定します。
④付属の木ネジを小判穴にねじ込み、取付板を固定します。

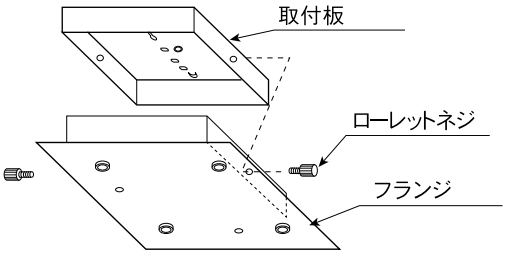


⚠注意　必ずワッシャーを挟んで固定してください。

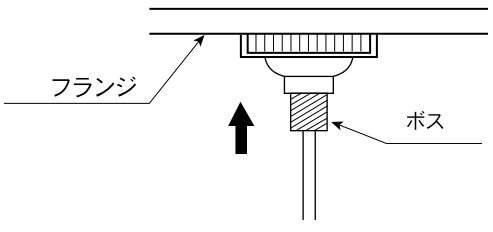
3.仮吊りチェーンを掛けます。


4.電源線を接続します。
●電源線を速結端子に差し込みます。


5.フランジを取り付けます。
●取付板のネジとフランジの取付穴を合わせ、
ローレットネジ(２個)で取り付けます。



6.吊り下げ高さの調節
ワイヤー線を調節してお好みの高さに設定します。
高さ調節は、最大高1100㎝～最小高300㎝の範囲で行ってください。
●ワイヤー線の調節の仕方



A短くする方法

本体を持ちながら、アジャスターの中に
ワイヤー線をまっすぐ押し込みます。

B長くする方法

①本体を持ちながら、アジャスターのボスを押したまま、ワイヤー線をまっすぐ外へ引き出します。
②長さが決まったらボスを離します。(ワイヤー線はそこで固定されます。)
※再度調節するときは、同じ作業をくり返します。

7.電源コードの調節
調節したワイヤー線の長さに合わせ、電源コードの長さを
調節します。
●たるんだ分の電源コードをフランジ内部に押し込みます。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行ないます。

お手入れについて　⚠ 注 意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

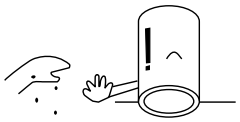
●１年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をしてください。
　また３年に１回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行わずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
　　定期的に清掃しましょう、暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注 意

●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
★光源ユニットの故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザー
　などは使用しないでください。
★器具にキズをつけたり、変色や変質の原因となります。
★カバーの破損、落下の原因となります。

●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。
　絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

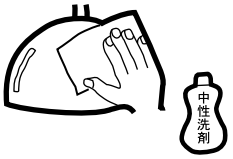


◆光源ユニットの交換

⚠ 注 意　●本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。